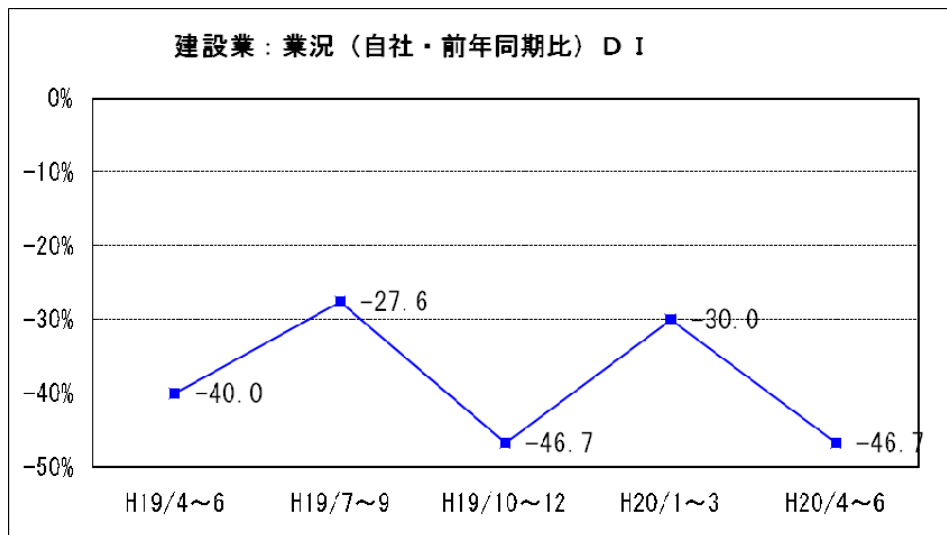


### 3. 建設業

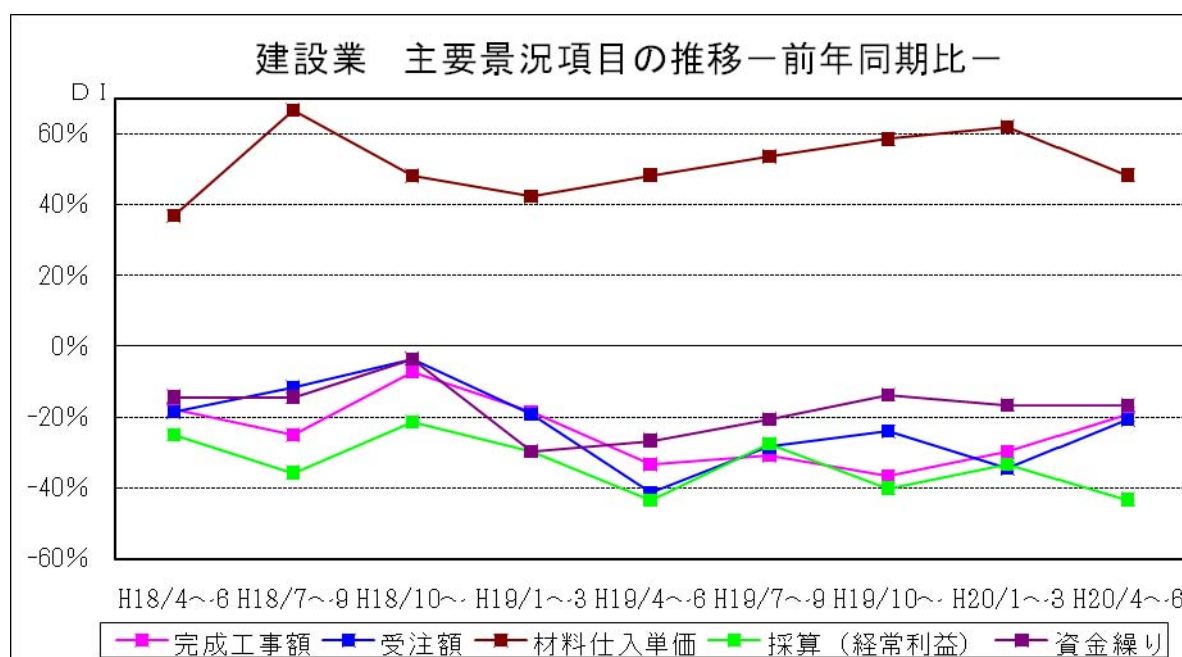
#### (1) 業況概要（前年同期比）

今期の業況DI値は、マイナス46.7。前期のマイナス30.0から16.7ポイント下降、大幅な悪化。来期見通しは、マイナス38.7と回復の見込み。



建設業の主要景況項目DI値の推移（前年同期比・%）

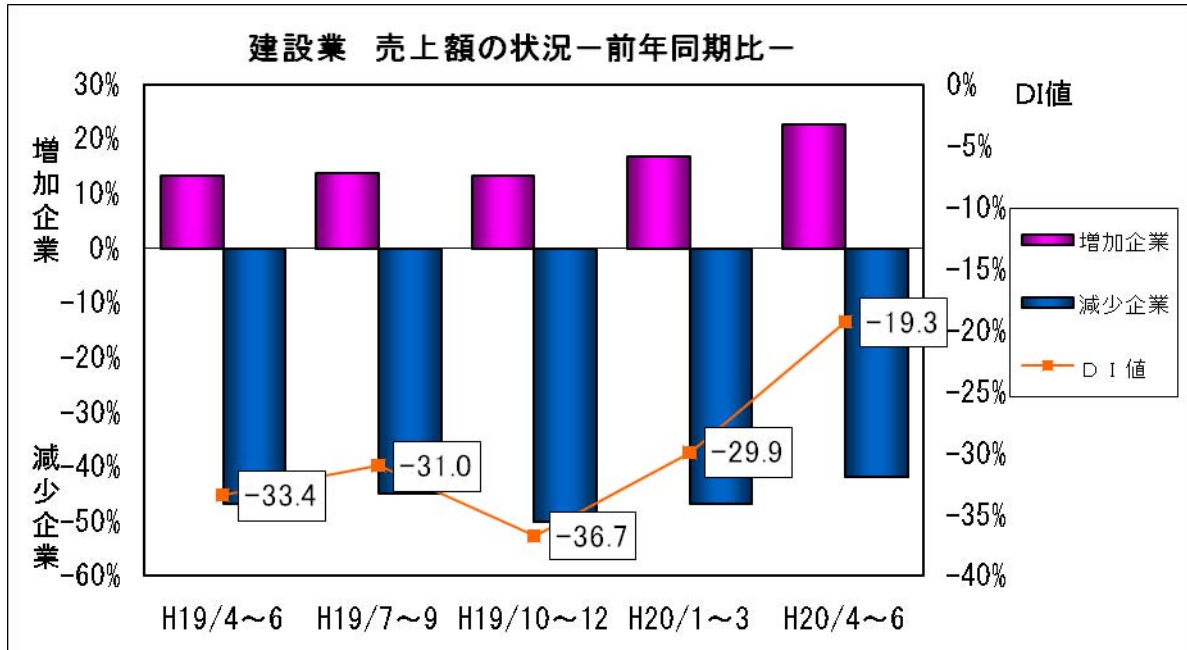
	前々期 (19年10月~12月)	前期(A) (20年1月~3月)	今期(B) (20年4月~6月)	今期と前期の差 (B) - (A)	来期 見通し
完成工事額	▲36.7	▲29.9	▲19.3	10.6	▲29.0
受注額	▲24.1	▲34.6	▲20.7	13.9	▲40.0
材料仕入単価	58.6	62.1	48.4	▲13.7	50.0
採算（経常利益）	▲40.0	▲33.3	▲43.3	▲10.0	▲51.6
資金繰り	▲13.8	▲16.7	▲16.6	0.1	▲25.8



(2) 主要項目の概況（前年同期比）

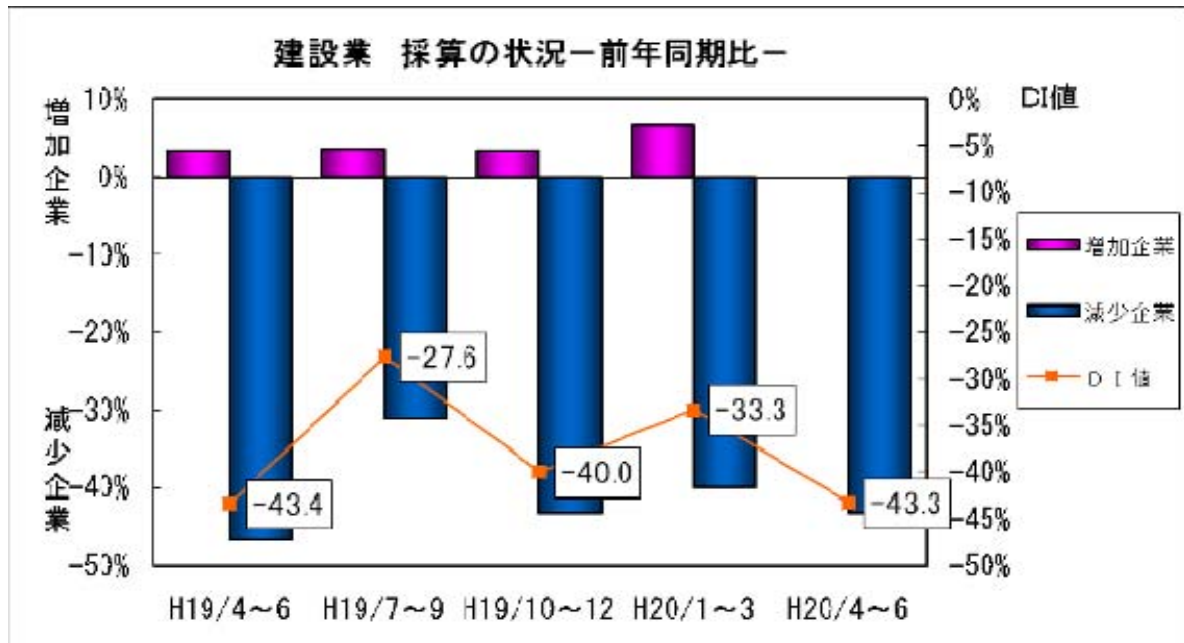
①完成工事額（前年同期比）

今期の完成工事額D I 値は、マイナス 19.3。前期のマイナス 29.9 から 10.6 ポイント  
大幅な上昇、回復。来期はマイナス 29.0 と再び小幅に悪化する見込み。



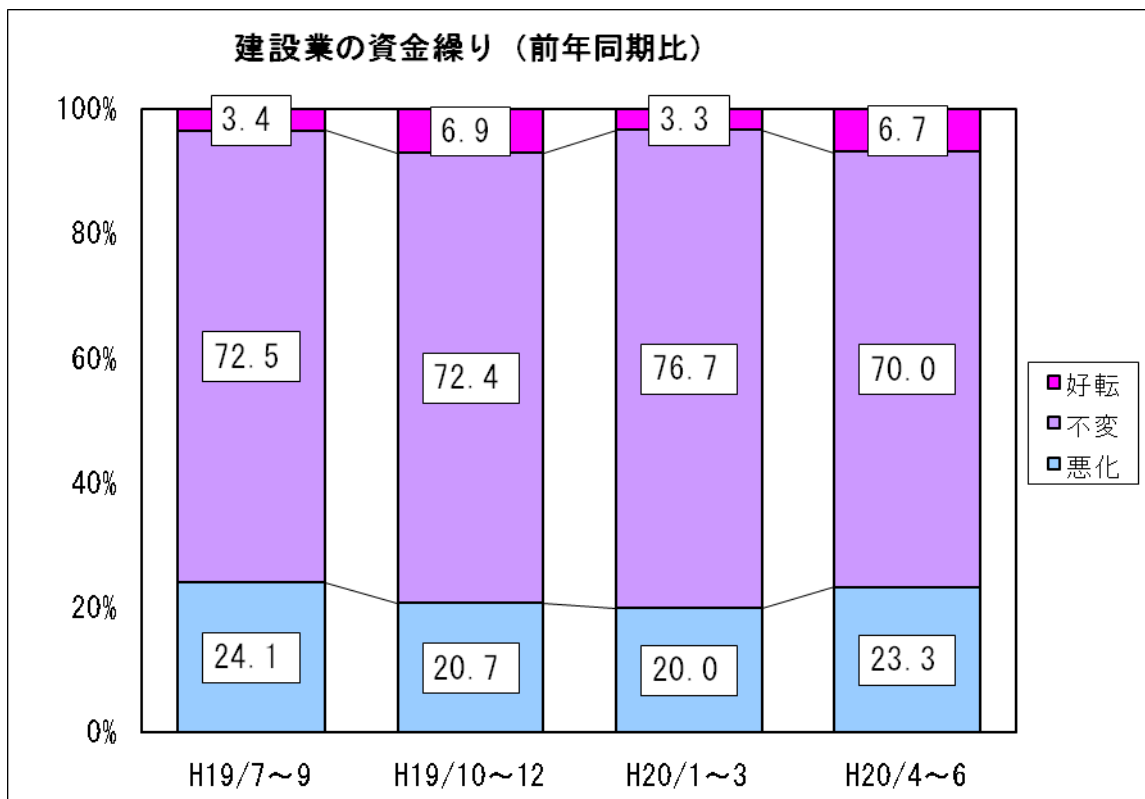
②採算（前年同期比）

今期の採算D I 値は、マイナス 43.3。前期のマイナス 33.3 から 10.0 ポイント下降、  
大幅な悪化。来期見通しもマイナス 51.6 とさらに小幅に悪化する見込み。



### ③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りD I値は、マイナス16.6。前期のマイナス16.7からほぼ横ばい。来期見通しはマイナス25.8と小幅な悪化の見込み。

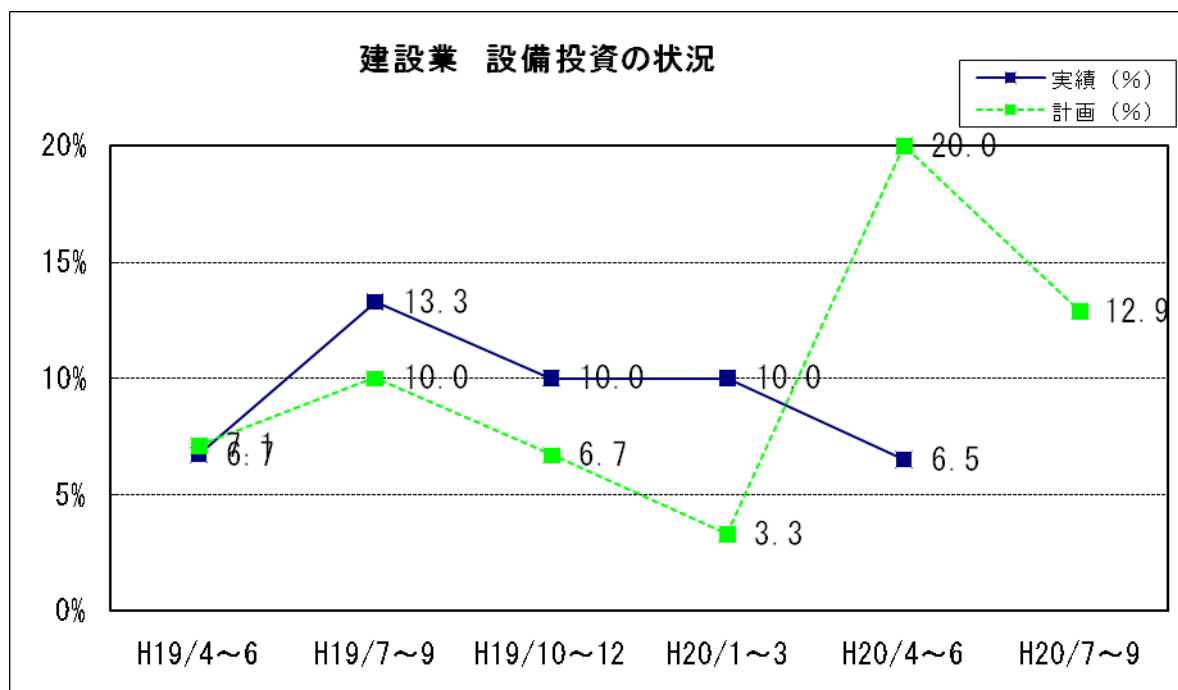


#### ④設備投資

##### 新規設備投資の状況

	あり	投 資 内 容								なし
		土 地	建 物	建設 機械	車両・ 運搬具	付帯 施設	OA 機器	福 利 厚 生 施 設	その他	
前期実施 (実数) (%)	3 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	27 90.0
今期実施 (実数) (%)	2 6.5	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	29 93.5
来期計画 (実数) (%)	4 12.9	1 25.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	27 87.1

今期設備投資を実施した企業は2社(6.5%)。前期(平成20年1~3月期)の実施企業3社(10.0%)から1社減少。来期は4社(12.9%)が、土地、建物、建設機械、車両・運搬具、OA機器への設備投資を計画している。



⑤経営上の問題点

今期、経営上の問題点として建設業が一位～三位にあげる項目は、

- 「材料価格の上昇」 (前期 52%→今期 50%)
- 「取引条件の悪化」 (前期 31%→今期 43%)
- 「民間需要の停滞」 (前期 35%→今期 40%)
- 「官公需要の停滞」 (前期 35%→今期 37%)

となっている。

